

令和8年度全国学力・学習状況調査 ～伊丹市の結果速報～

令和8年(2026年)4月に、小学校6年生・中学校3年生対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせいたします。
実施教科は国語、算数・数学です。中学校は加えて英語も実施。
(本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です)

全国の平均正答率を100とした場合の伊丹市の平均正答率の値

小学校	国語	算数
	105	105
中学校	国語	数学
	102	105

伊丹市の中学校英語のIRTスコア ※読むこと・書くこと・聞くことの3技能

(カッコ内の数値は全国の3技能のIRTスコアです)

中学校 英 語	IRTスコア ※3技能総合
	506(499)



IRTについてはこちら
(文部科学省資料)

中学校英語はタブレットを用いてオンライン(CBT)で実施。難易度ごとの正答状況で理解度を図るIRT方式による採点。

伊丹市の子どもたちの学力が着実に育っています。
詳細な分析結果や具体的な取組等については、
今後、調査報告リーフレットにまとめて公開します。

問合せ先 伊丹市教育委員会事務局 学校教育課

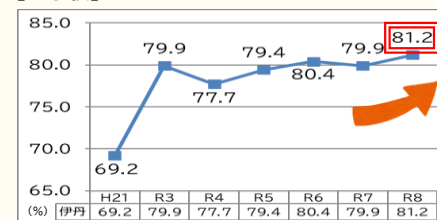
TEL 072-780-3534

生活習慣

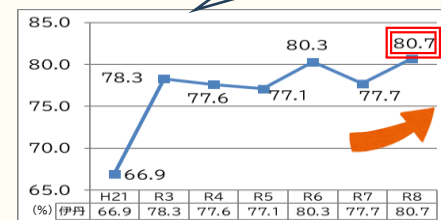
規則正しく生活できている児童生徒が育っています
(睡眠教育に関するエビデンスのひとつです)

Well-beingに関するエビデンスのひとつである「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」と肯定的に回答している割合も「93.0% (小学校)」「91.2% (中学校)」と高い数値になっています。

【小学校】



【中学校】



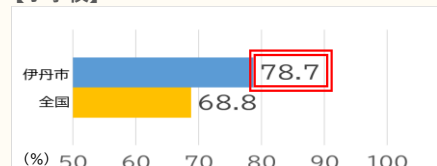
【「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合】

ICTの活用

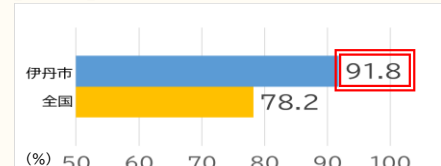
タブレットなどのICT端末が日々の授業でよく活用されています

「インターネットを使って情報を収集することができる」と回答している割合も「82.3% (小学校)」「90.8% (中学校)」と高い数値になっています。

【小学校】



【中学校】



【「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」に対して、「週3回以上」と回答した児童生徒の割合】

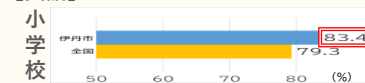
粘り強さ

あきらめることなく最後まで問題に取り組み、
自分の考えを書こうとする児童生徒が多く見られました

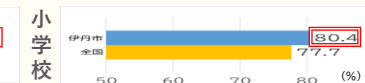


今年度の調査問題等についてはこちら
(国立教育政策研究所)

【国語】



【算数・数学】



中学校

中学校

【文章で解答する問題について「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童生徒の割合】

